

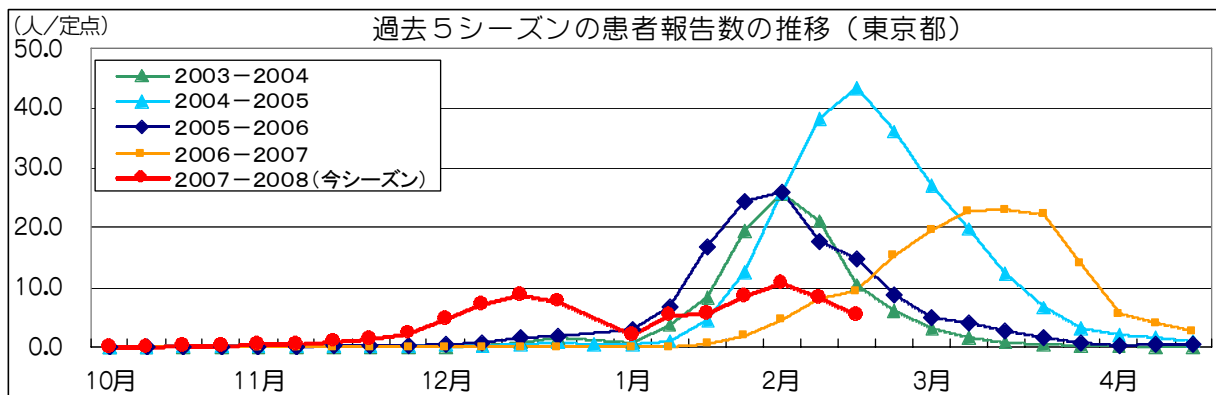
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

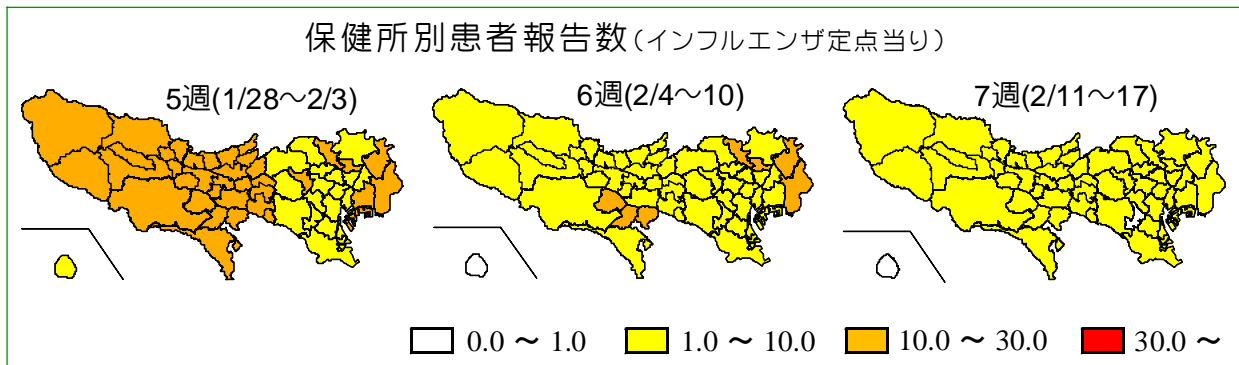
今号(第14号)のトピックス

- 第7週(2月11日から17日)のインフルエンザ患者報告数は 1,568人、
定点当り 5.44人 (去年同期 定点当り 9.40人)
- 3区9市1村で学級閉鎖
- 24県でインフルエンザ定点当りの患者報告数が10人を超える
- 東京都の流行規模は、全国で41位

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

東京都におけるインフルエンザ定点*からの第7週(2月11日から17日)の患者報告数は、1,568人、定点当り 5.44人です(去年同期 定点当り 9.40人)。インフルエンザ定点当たりの報告数は2週連続して減少しています。流行がこのまま終息に向かうのかどうか、今後の動向に注意が必要です。

全国の患者報告数は 45,278人、定点当り 9.51人です。全国の定点当り患者報告数は減少し、先週の約63%になっています。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

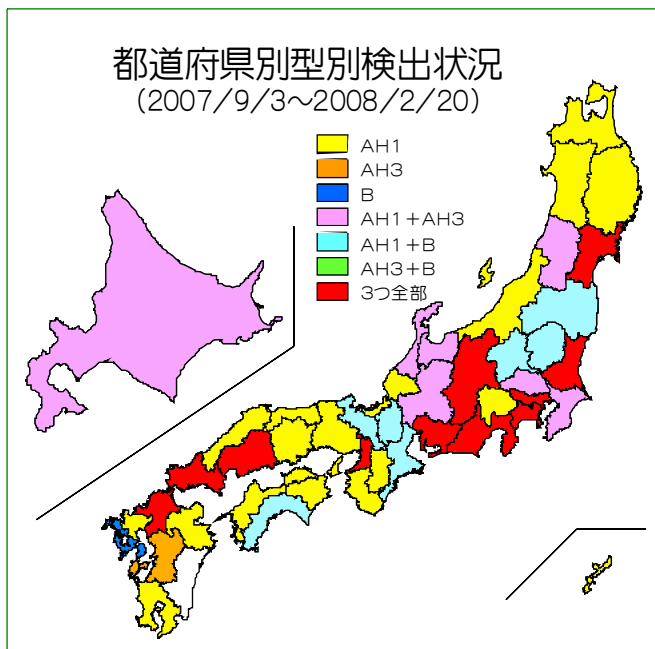
表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-4週 (9/3-1/27)	518	118	115	2	1
5週 (1/28-2/3)	39	21	18	3	0
6週 (2/4-10)	42	21	19	2	0
7週 (2/11-17)	43	11	5	1	5
合計			157	8	6

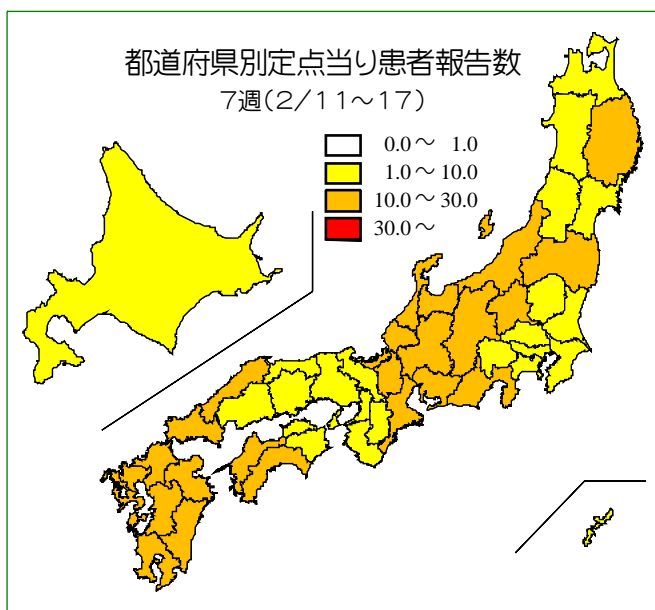
表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
1月末まで	26か所	幼稚園 小学校 中学校	101	99	99	0	0

都道府県別型別検出状況
(2007/9/3~2008/2/20)



都道府県別定点当り患者報告数
7週(2/11~17)



2 都内学校の学級閉鎖状況

2月10日から16日に、世田谷、杉並、板橋、八王子、立川、武蔵野、府中、町田、小平、狛江、武蔵村山、西東京、新島の3区9市1村でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

3 東京都と全国の検査情報

(2007年9月以降)

2月17日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が157件、AH3亜型が8件、B型が6件、PCR法により検出されています。

2月21日までに集団発生(学級閉鎖等)26事例の検体が当センターに搬入され、26事例99検体からAH1亜型が、PCR法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、2月20日までに、44都道府県からAH1亜型、19都道府県からAH3亜型、19都道府県からB型が報告されています。

今回新たに、AH3亜型が山形県から、B型が福島、神奈川、滋賀の3県から報告されました。

4 全国の流行状況

第7週(2月11日から17日)現在、24県が注意報発令の基準値であるインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。宮崎(25.20)、熊本(25.00)、大分(24.74)、佐賀(22.44)の4県は、定点当り患者報告数が20人を超えています。

東京(5.44)は全国で41番目になっています。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/